#### 調380-(3)-3

# 第380回地震調查委員会資料

#### 〈目 次〉

٠	広帯域地震計を用いたモーメントテンソル解析結果(2022年11月01日-11月30日) ・・・	$\cdot \cdot 2$
٠	紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況(2022年11月)	15
٠	四国の深部低周波微動活動状況(2022年11月)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16
٠	四国西部の短期的スロースリップ活動状況(2022年11月)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17
٠	2022年11月9日茨城県南部の地震による強震動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18

### 令和4年12月9日





₩₩₩ 防災科研

#### 広帯域地震計を用いたモーメントテンソル解析結果

(2022年11月01日---11月30日)

#### 国立研究開発法人 防災科学技術研究所

期間中のイベント数:109

・千島列島								
76)	千島列島	(11/22 05:02 Mw4.6 H_56km VR62.69/3) 西北西一東南東方向に圧縮軸を持つ型						
81)	千島列島	(11/24 01:44 Mw4.2 H_71km VR69.02/3) 東西方向に圧縮軸を持つ型						
87)	千島列島	(11/25 06:50 Mw4.1 H_41km VR61.79/3) 西北西一東南東圧縮の逆断層						
・北海道地方								
2)	日本海北部	(11/01 09:45 Mw4.2 H340km VR66.10/3) 西北西一東南東方向に圧縮軸を持つ型						
4)	釧路沖	(11/02 08:45 Mw4.8 H_23km VR80.82/3) 北西一南東圧縮の逆断層						
14)	北海道南西沖	(11/03 22:10 Mw4.0 H200km VR64.67/3) 北西一南東圧縮の逆断層						
<u>22</u> )	根室半島南東沖	(11/06 13:23 Mw5.2 H_32km VR89.19/3) 北西一南東圧縮の逆断層						
33)	根室半島南東沖	(11/11 10:04 Mw4.0 H_35km VR81.20/3) 西北西一東南東方向に圧縮軸を持つ型						
42)	択捉島付近	(11/13 17:16 Mw4.9 H_35km VR78.07/3) 北西一南東圧縮の逆断層						
44)	根室半島南東沖	(11/14 15:08 Mw4.0 H_41km VR58.88/3) 西北西一東南東圧縮の逆断層						
69)	北海道北西沖	(11/19 10:39 Mw4.4 H360km VR56.70/3) 東西方向に圧縮軸を持つ型						
73)	釧路沖	(11/20 18:17 Mw4.7 H_59km VR92.87/3) 北西一南東圧縮の逆断層						
80)	北海道北西沖	(11/24 01:26 Mw4.9 H290km VR94.94/3) 北西一南東圧縮の横ずれ断層						
93)	浦河沖	(11/26 17:29 Mw4.2 H_62km VR82.47/3) 西北西一東南東圧縮の逆断層						
97)	択捉島付近	(11/27 01:55 Mw4.4 H_56km VR84.95/3) 北西一南東圧縮の逆断層						
・ 東	北地方							
21)	青森県東方沖	(11/06 02:17 Mw4.0 H_32km VR82.81/3) 東西方向に圧縮軸を持つ型						
62)	青森県東方沖	(11/17 09:28 Mw4.9 H_65km VR91.64/3) 西北西一東南東圧縮の逆断層						
66)	宮城県沖	(11/18 02:35 Mw4.2 H_59km VR90.95/3) 西北西一東南東圧縮の逆断層						
74)	福島県沖	(11/21 05:19 Mw4.3 H_50km VR87.81/3) 西北西一東南東圧縮の逆断層						
102)	青森県東方沖	(11/28 06:40 Mw4.5 H_44km VR80.77/3) 南北伸張の正断層						
106)	福島県沖	(11/30 06:34 Mw4.2 H_56km VR87.19/3) 西北西一東南東方向に圧縮軸を持つ型						
<u>107)</u>	福島県沖	(11/30 12:45 Mw5.0 H_38km VR87.80/3) 西北西一東南東圧縮の逆断層						
・関	東・中部地方							
11)	千葉県北西部	(11/03 19:04 Mw4.9 H_68km VR87.34/3) 東西圧縮の逆断層						
12)	千葉県北西部	(11/03 20:16 Mw4.5 H_62km VR88.70/3) 東西圧縮の逆断層						
30)	茨城県南部	(11/09 17:40 Mw4.8 H_50km VR90.43/3) 北北西一南南東圧縮の逆断層						
32)	千葉県東方沖	(11/10 10:22 Mw4.3 H_47km VR79.90/3) 西北西一東南東圧縮の逆断層						
47)	石川県能登地方	(11/14 22:27 Mw4.2 H8km VR86.94/3) 北西一南東圧縮の逆断層						
65)	千葉県北西部	(11/17 21:43 Mw4.4 H_71km VR82.87/3) 西北西一東南東圧縮の逆断層						
82)	房総半島南東沖	(11/24_01:52_Mw5.2_H_26km_VR89.94/3) 東西方向に圧縮軸を持つ型						
83)	茨城県南部	(11/24 04:34 Mw4.2 H_47km VR85.90/3) 東西方向に圧縮軸を持つ型						
89)	遠州灘	(11/25 16:04 Mw4.8 H340km VR95.42/3) 東西圧縮の横ずれ断層						
95)	石川県能登地方	(11/26 21:58 Mw4.1 H8km VR90.54/3) 北西一南東圧縮の逆断層						
99)	八丈島東方沖	(11/27 02:45 Mw4.7 H5km VR62.97/3) 東西伸張の正断層						

101)	八丈島東方沖	(11/27 05:00	Mw4.5 H5km \	VR56. 88/3)	東西伸張の正断層				
109)	能登半島沖	(11/30 17:07	Mw4.2 H_11km \	VR79. 55/3)	北西一南東圧縮の逆断層				
・小笠原地方									
75)	鳥島近海	(11/21 13:25	Mw5.2 H400km \	VR85. 00/3)	西北西一東南東方向に圧縮軸を持つ型				
96)	鳥島近海	(11/27 00:17	Mw4.7 H340km \	VR85. 51/3)	北西一南東方向に圧縮軸を持つ型				
・東海道沖									
<u>45</u> )	東海道沖	(11/14 17:08	Mw6.1 H400km \	VR95. 58/3)	西北西一東南東方向に圧縮軸を持つ型				
78)	東海道沖	(11/23 01:06	Mw4.7 H5km \	VR63. 59/3)	東西方向に伸長軸を持つ型				
79)	東海道沖	(11/23 13:54	Mw4.3 H_44km \	VR78. 29/3)	北北東一南南西方向に圧縮軸を持つ型				
・九	州地方								
20)	日向灘	(11/06 00:32	Mw4.1 H_32km \	VR67. 63/3)	西北西一東南東方向に圧縮軸を持つ型				
28)	日向灘	(11/09 12:37	Mw4.5 H_32km \	VR72. 35/3)	西北西一東南東圧縮の逆断層				
50)	奄美大島近海	(11/15 11:19	Mw4.0 H_17km \	VR50. 71/3)	西北西一東南東圧縮の逆断層				
53)	種子島東方沖	(11/15 15:00	Mw4.0 H5km \	VR64. 90/3)	西北西一東南東伸張の正断層				
70)	奄美大島近海	(11/19 15:01	Mw4.1 H110km \	VR70. 34/3)	東西圧縮の逆断層				
85)	熊本県熊本地方	(11/24 20:20	Mw4.0 H_14km \	VR82. 16/3)	南北方向に伸長軸を持つ型				
・沖	縄地方								
3)	台湾付近	(11/01 17:30	Mw5.1 H119km \	VR84. 13/3)	南北圧縮の逆断層				
8)	東シナ海	(11/03 08:05	Mw4.1 H130km \	VR81. 84/3)	北北西一南南東方向に圧縮軸を持つ型				
23)	沖縄本島近海	(11/07 11:34	Mw4.1 H5km \	VR86. 75/2)	北西一南東方向に伸長軸を持つ型				
24)	沖縄本島近海	(11/08 04:41	Mw4.3 H_17km \	VR75. 44/3)	北西一南東圧縮の逆断層				
26)	宮古島近海	(11/09 02:38	Mw4.0 H_44km \	VR80. 92/2)	北西一南東圧縮の逆断層				
29)	台湾付近	(11/09 16:42	Mw4.8 H_26km \	VR72. 50/3)	東北東一西南西圧縮の横ずれ断層				
<u>36</u> )	沖縄本島近海	(11/12 02:32	Mw5.2 H8km \	VR76. 34/3)	北西一南東伸張の正断層				
38)	台湾付近	(11/12 10:21	Mw4.5 H_71km \	VR72. 87/2)	北北西一南南東伸張の正断層				
<u>41)</u>	台湾付近	(11/13 10:47	Mw5.1 H_32km \	VR77. 07/3)	南北圧縮の逆断層				
43)	台湾付近	(11/13 23:09	Mw4. 2 H_44km \	VR83. 53/2)	北北東一南南西圧縮の逆断層				
52)	台湾付近	(11/15 12:43	Mw4.5 H5km \	VR53. 63/2)	北北西一南南東伸張の正断層				
56)	台湾付近	(11/16 10:09	Mw4. 2 H_32km \	VR75. 04/2)	北北西一南南東圧縮の横ずれ断層				
58)	台湾付近	(11/17 00:02	Mw4.3 H8km \	VR59. 43/2)	北西一南東伸張の正断層				
59)	台湾付近	(11/17 00:07	Mw4.9 H_11km \	VR63. 58/3)	北西一南東方向に圧縮軸を持つ型				
63)	台湾付近	(11/17 13:07	Mw4.0 H_29km \	VR81. 81/2)	南北圧縮の逆断層				
71)	台湾付近	(11/20 10:49	Mw4.8 H_77km \	VR91. 61/3)	東西方向に圧縮軸を持つ型				
98)	台湾付近	(11/27 02:38	Mw4.7 H_44km \	VR79. 77/3)	北西一南東方向に圧縮軸を持つ型				
100)	台湾付近	(11/27 04:09	Mw4.3 H_26km \	VR73. 68/3)	北西一南東伸張の正断層				
105)	沖縄本島近海	(11/30 00:57	Mw5.2 H5km \	VR74. 54/2)	北北西一南南東伸張の正断層				

\*Mw4.0以上をリストアップ.

\*\*下線部はMw5.0以上を示す.

\*\*\*" VR" 欄の" /" の後の数は解析に使用した観測点数を示す.

\*\*\*\*断層タイプの分類はFrohlich [1992]による.

謝辞 地形データは海上保安庁のものを使用させて頂きました. 記して感謝いたします



#### 

### Hokkaido Nov 01,2022–Nov 30,2022(JST)

![](_page_5_Figure_1.jpeg)

**Tohoku** Nov 01,2022–Nov 15,2022(JST)

![](_page_6_Figure_1.jpeg)

**Tohoku** Nov 16,2022–Nov 30,2022(JST)

![](_page_7_Figure_1.jpeg)

# Kanto-Chubu

Nov 01,2022-Nov 15,2022(JST)

![](_page_8_Figure_2.jpeg)

#### Kanto-Chubu

Nov 16,2022-Nov 30,2022(JST)

![](_page_9_Figure_2.jpeg)

### Kinki-Chugoku-Shikoku

Nov 01,2022-Nov 30,2022(JST)

![](_page_10_Figure_2.jpeg)

Kyushu Nov 01,2022–Nov 30,2022(JST)

![](_page_11_Figure_1.jpeg)

13. 11/03 21:10 Mw3.5 H\_20km VR76.5 18. 11/05 05:02 Mw3.9 H195km VR79.4 20. 11/06 00:32 Mw4.1 H\_32km VR67.6 25. 11/08 14:14 Mw3.9 H\_\_5km VR83.2

28. 11/09 12:37 Mw4.5 H\_32km VR72.3 53. 11/15 15:00 Mw4.0 H\_5km VR64.9 70. 11/19 15:01 Mw4.1 H110km VR70.3 72. 11/20 17:34 Mw3.8 H\_44km VR87.1

77. 11/22 10:24 Mw3.6 H\_44km VR78.0 85. 11/24 20:20 Mw4.0 H\_14km VR82.2

### Okinawa Nov 01,2022–Nov 15,2022(JST)

![](_page_12_Figure_1.jpeg)

### Okinawa Nov 16,2022-Nov 30,2022(JST)

![](_page_13_Figure_1.jpeg)

98. 11/27 02:38 Mw4.7 H \_44km VR79.8 100. 11/27 04:09 Mw4.3 H \_26km VR73.7 103. 11/28 07:59 Mw3.9 H280km VR53.2 104. 11/29 11:43 Mw3.8 H \_38km VR68.1 105. 11/30 00:57 Mw5.2 H \_\_5km VR74.5

![](_page_14_Figure_1.jpeg)

![](_page_14_Figure_2.jpeg)

図1. 紀伊半島・東海地域における2003年1月~2022年12月3日までの深部低周波微動の時空間分布(上図). 赤丸はエンベロープ相関・振幅ハイブリッド法(Maeda and Obara, 2009)およびクラスタ処理(Obara et al., 2010)に よって1時間毎に自動処理された微動分布の重心である.青菱形は周期20秒に卓越する超低周波地震(Ito et al., 2007)である.黄緑色の太線はこれまでに検出された短期的スロースリップイベント(SSE)を示す.下図は2022 年11月を中心とした期間の拡大図である.11月8~11日頃には,奈良・和歌山県境付近から奈良県南部におい てやや活発な微動活動がみられ,北東方向への活動域の拡大がみられた.11月1~5日頃には長野県南部において, 11月16~18日頃には奈良県南部において,それぞれ小規模な活動がみられた.11月6日9:03頃にセレベス海 の深さ250kmで発生した Mw5.6(USGSによる)の地震により同10~20分台に表面波の到来がみられた後,同 30~50分台に和歌山県において微動活動がみられた.

![](_page_14_Figure_4.jpeg)

図2.各期間に発生した微動(赤丸)の分布.灰丸は、図1の拡大 図で示した期間における微動分布を示す.

防災科学技術研究所資料

●11月17~28日頃に豊後水道から四国西部において、やや活発な微動活動.

![](_page_15_Figure_2.jpeg)

図1.四国における2003年1月~2022年12月3日までの深部低周波微動の時空間分布(上図).赤丸はエンベロープ相関・振幅ハイブリッド法(Maeda and Obara, 2009)およびクラスタ処理(Obara et al., 2010)によって1時間毎に自動処理された微動分布の重心である.青菱形は周期20秒に卓越する超低周波地震(Ito et al., 2007)である.黄緑色太線は、これまでに検出された短期的スロースリップイベント(SSE)を示す.下図は2022年11月を中心とした期間の拡大図である.11月17~28日頃には豊後水道から愛媛県西部において、やや活発な活動がみられた.この活動では23日頃まで東方向への活動域の移動がみられた.この活動に際し傾斜変動から短期的SSEの断層モデルも推定されている.11月12日頃には香川県において、11月16~17日頃には愛媛県東部において、11月30日頃には愛媛・香川・徳島県境付近において、それぞれごく小規模な活動がみられた.

![](_page_15_Figure_4.jpeg)

図2. 各期間に発生した微動(赤丸),および深部超低周波地震(青菱形)の 分布. 灰丸は,図1の拡大図で示した期間における微動分布を示す.

防災科学技術研究所資料

四国西部の短期的スロースリップ活動状況(2022年11月)

![](_page_16_Figure_1.jpeg)

図1:2022年11月1日~12月1日の傾斜時系列.上方向への変化が北・東下が りの傾斜変動を表し, BAYTAP-G により潮汐・気圧応答成分を除去した. 11 月 16日~11月26日の傾斜変化ベクトルを図2に示す.四国西部~中部での微動活 動度・気象庁宇和島観測点の気圧・雨量をあわせて示す.

100

50

Ω

40

20 0

気象庁の WEB ページで公開されている気象データを使用させて頂きました. 記して感謝いたします.

#### 防災科学技術研究所資料

謝辞

ト相対運動方向に固定している.

防災科学技術研究所 🕺 防災科研

2022年11月9日茨城県南部の地震(M<sub>JMA</sub>4.9、深さ51 km)では、震央の北東36 kmに位置する茨城県城里町小勝で震度5強を観測し、その他の地点の最大震度は4であった。K-NET及びKiK-netの最大加速度、震度分布では、茨城県南部の地震において震源直上よりも北部で地震動が大きい事例がしばしば見られる。

![](_page_17_Figure_3.jpeg)

防災科学技術研究所 🕺 防災科研

![](_page_18_Figure_2.jpeg)

#### 防災科学技術研究所 🕈 🕅 🕅 🕅 🕅

2022年の地震では城里町小勝周辺の観測点での周期0.1秒と0.15秒の加速度応答値が、過去の同規模の地 震と比べて大きい。城里町小勝で震度5強が観測された理由として、この短周期帯域の地震波が浅部地 盤の影響でさらに増幅し、震度計算用のフィルタ後も一定以上の振幅が残った可能性が考えられる。

2022/11/09 *M*<sub>JMA</sub>4.9 2021/12/12 M<sub>IMA</sub>5.0

2020/04/12 *M*<sub>IMA</sub>5.0 2018/11/27 *M*<sub>IMA</sub>5.0

![](_page_19_Figure_6.jpeg)

#### 防災科学技術研究所 🕺 防災科研

周期0.5秒及び1秒では2022年の地震で城里町小勝周辺の観測点での加速度応答値は他の地震と同程度かやや小さく、震度4を観測した地点の多い2020年の地震では周期0.5秒の加速度応答値が大きい。

![](_page_20_Figure_3.jpeg)